

講義要綱

2026年度

夜間課程 3学年

学年担任 田中 靖子



専門学校

医学アカデミー
理学療法学科

Igaku Academy Physical Therapies

目次

夜間課程 単位表	4
夜間課程 3学年		
医学英語Ⅱ	5
医療統計	6
人体とバイオメカニクス	7
関連法規	8
精神医学と理学療法	9
小児科と理学療法	10
疾病予防と健康管理	11
理学療法管理学	12
理学療法評価Ⅴ	13
運動療法Ⅲ	14
日常生活活動演習	15
義肢学	16
疾患別理学療法Ⅳ(内部障害)	17
疾患別理学療法Ⅴ(小児発達障害)	18
理学療法演習	19
理学療法総理解Ⅲ	20
理学療法特論	21
総合理学療法Ⅲ	22
総合理学療法Ⅳ	23
生活環境論	24
臨床実習Ⅳ	25

医療専門課程理学療法学科（夜間課程）

科目区分	授業科目	区分	第一学年		第二学年		第三学年		単位数	時間数		
			単位数	年間授業時間	単位数	年間授業時間	単位数	年間授業時間				
基礎分野	科学的思考の基礎	医学英語Ⅰ	講義	1	16				1	16		
		医学英語Ⅱ	講義					1	16	1	16	
		情報科学・プレゼンテーション	演習	1	30					1	30	
		医療統計	講義					1	16	1	16	
	人間と生活	人体とバイオメカニクス	講義					1	16	1	16	
		医療の歴史と倫理	講義	1	16					1	16	
		関連法規	講義					1	16	1	16	
		理学療法法の領域と位置付け	講義	1	16					1	16	
		心理	講義	1	16					1	16	
		人間関係・コミュニケーション論Ⅰ	演習	1	30					1	30	
		人間関係・コミュニケーション論Ⅱ	演習			1	16			1	16	
		保健体育Ⅰ	演習	1	30					1	30	
	社会の理解	保健体育Ⅱ	演習			1	16			1	16	
		公衆衛生	講義	1	16					1	16	
基礎合計			8	170	2	32	4	64	14	266		
専門基礎分野	人体の構造と機能及び心身の発達	人体の構造と機能 総論	講義	1	30					1	30	
		人体の構造と機能 各論Ⅰ（神経系の構造）	講義	1	30					1	30	
		人体の構造と機能 各論Ⅱ（神経系の機能）	講義	1	30					1	30	
		人体の構造と機能 各論Ⅲ（運動器系の構造）	講義	1	30					1	30	
		人体の構造と機能 各論Ⅳ（運動器系の機能）	講義	1	30					1	30	
		人体の構造と機能 各論Ⅴ（内臓器系の構造）	講義	1	30					1	30	
		人体の構造と機能 各論Ⅵ（内臓器系の機能）	講義	1	30					1	30	
		人体の構造と機能 演習（表面解剖）	演習	3	48					3	48	
		運動学Ⅰ（四肢体幹の運動）	講義	3	48					3	48	
		運動学Ⅱ（姿勢と動作）	講義	1	30					1	30	
		運動学Ⅲ（運動生理・運動学習）	講義	1	30					1	30	
		運動学演習	演習	1	30					1	30	
		人間発達	講義	1	16					1	16	
		(小計)		17	412	0	0	0	0	17	412	
	疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進	疾病・病態論	講義	1	30					1	30	
		臨床心理	講義			1	16			1	16	
		病理	講義			1	16			1	16	
		内科と理学療法	講義	1	30					1	30	
		老年期障害と理学療法	講義	1	16					1	16	
		整形外科と理学療法	講義			3	48			3	48	
		神経内科と理学療法	講義			3	48			3	48	
		精神医学と理学療法	講義					2	30	2	30	
		小児科と理学療法	講義					1	16	1	16	
		一般臨床医学と理学療法	講義			1	30			1	30	
	(小計)		1	30	11	204	3	46	15	280		
	保健医療福祉とリハビリテーションの理念	地域保健福祉論	講義	1	16					1	16	
		リハビリテーション概論	講義	1	16					1	16	
		疾病予防と健康管理	講義					2	30	2	30	
	(小計)		2	32	0	0	2	30	4	62		
	専門基礎分野合計			20	474	11	204	5	76	36	754	
	専門分野	基礎理学療法	理学療法概論	講義	1	30					1	30
			障害と理学療法手法	講義	2	30					2	30
			臨床運動学	演習			1	30			1	30
			理学療法研究法	講義			2	30			2	30
			(小計)		3	60	3	60	0	0	6	120
		理学療法管理学	理学療法管理学	講義					2	30	2	30
			(小計)		0	0	0	0	2	30	2	30
		理学療法評価学	理学療法評価概論	講義	1	16					1	16
			理学療法評価Ⅰ	実習	1	44					1	44
			理学療法評価Ⅱ	実習	1	44					1	44
			理学療法評価Ⅲ	演習			1	30			1	30
			理学療法評価Ⅳ	演習			1	30			1	30
理学療法評価Ⅴ			実習					1	44	1	44	
(小計)			3	104	2	60	1	44	6	208		
理学療法治療学		運動療法Ⅰ	演習	1	30					1	30	
		運動療法Ⅱ	演習			2	30			2	30	
		運動療法Ⅲ	演習					1	30	1	30	
		物理療法	演習			1	30			1	30	
		日常生活活動	講義			1	30			1	30	
		日常生活活動演習	演習					3	48	3	48	
		装具学	講義			1	30			1	30	
		義肢学	講義					1	30	1	30	
		疾患別理学療法Ⅰ（骨関節）	演習			3	48			3	48	
		疾患別理学療法Ⅱ（成人中枢）	演習			3	48			3	48	
		疾患別理学療法Ⅲ（神経筋）	演習			3	48			3	48	
		疾患別理学療法Ⅳ（内部障害）	演習					3	48	3	48	
		疾患別理学療法Ⅴ（小児発達障害）	講義					1	16	1	16	
		理学療法演習	実習					1	44	1	44	
		理学療法総合理解Ⅰ	演習	1	30					1	30	
		理学療法総合理解Ⅱ	演習			1	16			1	16	
		理学療法総合理解Ⅲ	演習					1	16	1	16	
		理学療法特論	演習					2	60	2	60	
		総合理学療法Ⅰ	実習	1	30					1	30	
		総合理学療法Ⅱ	実習			1	30			1	30	
総合理学療法Ⅲ		実習					1	44	1	44		
総合理学療法Ⅳ		演習					1	30	1	30		
(小計)			3	90	16	310	15	366	34	766		
地域理学療法		基本動作支援技術	演習	1	30					1	30	
		地域リハビリテーション（地域包括ケア、介護予防）	講義			1	30			1	30	
		生活環境論	講義					1	16	1	16	
(小計)			1	30	1	30	1	16	3	76		
臨床実習		臨床実習Ⅰ	実習	1	45					1	45	
	臨床実習Ⅱ	実習			9	405			9	405		
	臨床実習Ⅲ（地域リハビリテーション実習）	実習			1	45			1	45		
	臨床実習Ⅳ	実習					9	405	9	405		
	(小計)		1	45	10	450	9	405	20	900		
専門分野合計			11	329	32	910	28	861	71	2100		
必修科目授業合計			39	973	45	1146	37	1001	121	3120		
選択科目授業合計				0		0		0		0		
卒業に必要な総授業時間数			39	973	45	1146	37	1001	121	3120		

2026年 医学アカデミー理学療法学科 夜間課程

3学年	科目	医学英語Ⅱ	単位・時間数	1単位・16時間
	講師	杉田 貴寛	担当教員	杉田 貴寛

I 教育目標

英文論文を抄読し、医学英語の表現について学習する。

II 到達目標

医学英語の表現について、大まかな内容を把握できる。

III 学習内容(シラバス)

1	英語論文の読み方
2	脳卒中文献抄読1
3	脳卒中文献抄読2
4	変形性膝関節症文献抄読1
5	変形性膝関節症文献抄読2
6	パーキンソン症候群文献抄読1
7	パーキンソン症候群文献抄読2
8	まとめ

IV 成績評価

課題レポートにより評価する。

V 教科書

配布プリント

2026年 医学アカデミー理学療法学科 夜間課程

3学年	科目	医療統計	単位・時間数	1単位・16時間
	講師	森田 敬介	担当教員	森田 敬介

I 教育目標

統計手法、統計結果の読解、表計算ソフトとを利用した統計処理について学習する。

II 到達目標

表計算ソフトを利用して簡単なデータの統計処理を実践できる。
理学療法士が研究で活用する基礎的な統計手法を理解する。

III 学習内容(シラバス)

1	合計、平均、グラフ作成等の基本的なデータ処理を学習する。
2	数式やグラフを用いてデータを比較する。
3	データの種類と尺度水準を学習する。
4	平均と度数分布、分散と標準偏差の違いを学習する。
5	2群の差の検定
6	相関関係
7	演習①
8	演習②

IV 成績評価

学力試験により評価する。

V 教科書

配布プリント

2026年 医学アカデミー理学療法学科 夜間課程

3学年	科目	人体とバイオメカニクス	単位・時間数	1単位・16時間
	講師	森田 敬介	担当教員	森田 敬介

I 教育目標

物理学および力学の基礎的概念、生体と力学、人体における力について学習する。

II 到達目標

人体の運動の基礎となる力学について説明できる。

III 学習内容(シラバス)

1	力の合成と分解、三角関数
2	生体におけるテコ
3	重心の求め方、重心の速度・加速度
4	床反力と重心加速度
5	関節モーメントと筋活動
6	歩行のバイオメカニクス①
7	歩行のバイオメカニクス②
8	歩行のバイオメカニクス③

IV 成績評価

学力試験により評価する。

V 教科書

配布プリント、基礎運動学 第6版補訂(医歯薬出版)
配布プリント

2026年 医学アカデミー—理学療法学科 夜間課程

3学年	科目	関連法規	単位・時間数	1単位・16時間
	講師	田中 靖子	担当教員	田中 靖子

I 教育目標

関連法規(医療法、理学療法士作業療法士法等)について学習する。

II 到達目標

関連法規の概要について説明できる。

III 学習内容(シラバス)

1	医療法、医師法、保健師助産師看護師法
2	理学療法士作業療法士法、言語聴覚士法
3	個人情報保護法
4	介護保険法
5	その他の法律1
6	その他の法律2
7	その他の法律3
8	その他の法律4

IV 成績評価

課題レポートにより評価する。

V 教科書

配布プリント

2026年 医学アカデミー理学療法学科 夜間課程

3学年	科目	精神医学と理学療法	単位・時間数	2単位・30時間
	講師	鈴木 健司	担当教員	田中 靖子

I 教育目標

精神科領域の理学療法対象疾患に関する、精神活動や行動およびその治療法を学び、理学療法介入時に対応できるようにする。
主に統合失調症・気分障害・てんかん・アルコール関連疾患について学ぶ。

II 到達目標

理学療法の臨床場面において、精神科領域の対象者に対応できる知識と介入対処方法を修得する。

III 学習内容(シラバス)

1	オリエンテーション 精神医学について
2	心理検査
3	神経症とストレス関連障害
4	心身症
5	統合失調症①
6	統合失調症②
7	気分障害
8	外因性精神障害
9	症状性精神障害
10	物質関連障害群・物質依存症
11	てんかん
12	その他の精神障害
13	精神科の治療法①
14	精神科の治療法②
15	まとめ

IV 成績評価

学力試験により評価する。

V 教科書

専門医がやさしく語る はじめての精神医学 改訂第2版(中山書店)

2026年 医学アカデミー理学療法学科 夜間課程

3学年	科目	小児科と理学療法	単位・時間数	1単位・16時間
	講師	山野 英男	担当教員	田中 靖子

I 教育目標

小児の障害を引き起こす主な疾患の病因、病態生理、症候、診断と治療について学習する。

II 到達目標

上記疾患について、疫学、予後、病因、症候、検査、診断、治療、リハビリテーション医療について説明できる。

III 学習内容(シラバス)

1	小児科学総論、成長と発達と反射
2	新生児疾患、核黄疸、脳性麻痺
3	先天異常と遺伝病、血友病、貧血、染色体異常
4	進行性筋ジストロフィー
5	小児の感染症①(細菌性とウイルス性)
6	小児の感染症②(胎児期～乳幼児期～学童期)
7	胎児循環、チアノーゼ(Down症に合併)、ファローの4徴候
8	先天性心疾患、消化器疾患

IV 成績評価

学力試験により評価する。

V 教科書

配布プリント

2026年 医学アカデミー理学療法学科 夜間課程

3学年	科目 疾病予防と健康管理	単位・時間数 2単位・30時間
	講師 森田 敬介	担当教員 森田 敬介

I 教育目標

予防の概念を理解し、健康管理のあり方、ストレスと健康の関係、行動変容、個別指導・集団指導について学習する。予防分野における理学療法士の役割の理解を深める。

II 到達目標

疾病予防、健康管理の重要性、それに働きかけるための方法について説明できる。

III 学習内容(シラバス)

1	オリエンテーション
2	予防の概念 一次予防・二次予防・三次予防
3	健康管理の在り方
4	行動変容について
5	個別指導・集団指導について
6	生活習慣病が関連する疾病の予防①
7	生活習慣病が関連する疾病の予防②
8	生活習慣病が関連する疾病の予防③
9	認知症予防①
10	認知症予防②
11	運動器症候群の予防①
12	運動器症候群の予防②
13	フレイルの予防
14	ストレスと健康の関係
15	まとめ

IV 成績評価

学力試験により評価する。

V 教科書

配布プリント 他

2026年 医学アカデミー理学療法学科 夜間課程

3学年	科目	理学療法管理学	単位・時間数	2単位・30時間
	講師	土屋 稔	担当教員	土屋 稔

I 教育目標

理学療法部門管理、理学療法倫理、理学療法教育について学習する。

II 到達目標

上記の内容について理解し、理学療法士として必要な専門性および職業倫理を身につける。

III 学習内容(シラバス)

1	総論
2	病因の分類と組織
3	専門職とチームケア
4	社会保障のしくみ
5	医療保険制度
6	介護保険制度
7	診療・介護報酬と収益構造
8	保健・医療・介護・福祉の連携
9	業務管理
10	情報管理
11	医療安全とリスク管理
12	感染症管理
13	権利擁護と職業倫理
14	教育管理
15	理学療法士の政治・政策への関与

IV 成績評価

課題レポートにより評価する。

V 教科書

理学療法テキスト 理学療法管理学 第2版(15レクチャーシリーズ)(中山書店)

2026年 医学アカデミー理学療法学科 夜間課程

3学年	科目 理学療法評価Ⅴ	単位・時間数	1単位・44時間
	講師 新井 啓介	担当教員	新井 啓介

I 教育目標

理学療法評価概論および理学療法評価Ⅰ～Ⅳの内容について再学習し、理解を深める。

II 到達目標

模擬症例(骨関節疾患、中枢神経疾患および神経筋疾患)に対する理学療法評価を実践できる。
評価内容に対して適切な考察および臨床推論ができる。

III 学習内容(シラバス)

1	模擬症例(骨関節疾患)に対する理学療法評価1	16	グループワーク1 模擬症例(骨関節疾患)に対する臨床推論
2	模擬症例(骨関節疾患)に対する理学療法評価2	17	グループワーク2 模擬症例(骨関節疾患)に対する臨床推論
3	模擬症例(骨関節疾患)に対する臨床推論1	18	グループワーク3 模擬症例(中枢疾患)に対する臨床推論
4	模擬症例(骨関節疾患)に対する臨床推論2	19	グループワーク4 模擬症例(中枢疾患)に対する臨床推論
5	模擬症例(骨関節疾患)に対する臨床推論3	20	グループワーク5 模擬症例(神経筋疾患)に対する臨床推論
6	模擬症例(中枢疾患)に対する理学療法評価1	21	グループワーク6 模擬症例(神経筋疾患)に対する臨床推論
7	模擬症例(中枢疾患)に対する理学療法評価2	22	まとめ
8	模擬症例(中枢疾患)に対する臨床推論1		
9	模擬症例(中枢疾患)に対する臨床推論2		
10	模擬症例(中枢疾患)に対する臨床推論3		
11	模擬症例(神経筋疾患)に対する理学療法評価1		
12	模擬症例(神経筋疾患)に対する理学療法評価2		
13	模擬症例(神経筋疾患)に対する臨床推論1		
14	模擬症例(神経筋疾患)に対する臨床推論2		
15	模擬症例(神経筋疾患)に対する臨床推論3		

IV 成績評価

学力試験により評価する。

V 教科書

理学療法評価学 第6版補訂版(金原出版)
症例動画でわかる 理学療法臨床推論 統合と解釈 実勢テキスト(羊土社)

2026年 医学アカデミー理学療法学科 夜間課程

3学年	科目	運動療法Ⅲ	単位・時間数	1単位・30時間
	講師	清水 正一	担当教員	田中 靖子

I 教育目標

運動療法のいくつかの体系化された方法論(概念・手法・演習)を学習する。特に神経系運動療法の基礎(感覚受容から中枢そして効果器)を再学習して、それらを応用した運動療法手技を体験し修得する。

II 到達目標

いくつかの体系された運動療法の理論(根拠)を理解し、理学療法介入に選択した理由が説明できる。

III 学習内容(シラバス)

1	オリエンテーション 神経生理的アプローチ 1
2	神経生理的アプローチ 2
3	神経生理的アプローチ 3
4	神経生理的アプローチ 4
5	神経生理的アプローチ 5
6	神経生理的アプローチ 6
7	神経生理的アプローチ 7
8	関節、筋アプローチ 1
9	関節、筋アプローチ 2
10	関節、筋アプローチ 3
11	関節、筋アプローチ 4
12	関節、筋アプローチ 5
13	関節、筋アプローチ 6
14	関節、筋アプローチ 7
15	まとめ

IV 成績評価

実技試験により評価する。

V 教科書

Crosslink理学療法学テキスト 運動療法学(メジカルビュー社)
配布プリント

2026年 医学アカデミー理学療法学科 夜間課程

3学年	科目	日常生活活動演習	単位・時間数	3単位・48時間
	講師	田中 靖子・松本 大希	担当教員	田中 靖子

I 教育目標

主要な疾患(運動器障害、神経障害等)・病態・障害によるADL制限の評価、指導方法について学習する。

II 到達目標

主要な疾患・病態・障害に対するADL制限の評価、指導方法を説明、実践できる。

III 学習内容(シラバス)

1	ADLと環境の関係性	16	FIMIによる評価
2	ADL評価(動作の分析、課題の抽出) ICFとのつながり	17	関節リウマチ患者の上肢機能とADL①(装具の適応)
3	脳血管障害患者のADL評価・指導①(起き上がり動作、座位保持)	18	関節リウマチ患者の上肢機能とADL②(自助具の適応)
4	脳血管障害患者のADL評価・指導②(起立・着座動作、立位保持)	19	関節リウマチ患者のADL評価・指導①(基本動作)
5	脳血管障害患者のADL評価・指導③(移乗動作、移動動作)	20	関節リウマチ患者のADL評価・指導②(上肢を使った動作)
6	脳血管障害患者のADL評価・指導④(トイレ動作など)	21	脊髄損傷患者の上肢機能とADL①(上肢装具の適応)
7	変形性関節症患者のADL評価・指導①(起立・着座動作、移動動作)	22	脊髄損傷患者の上肢機能とADL②(自助具の適応)
8	変形性関節症患者のADL評価・指導②(トイレ動作など)	23	車いすの適応とチェックアウト
9	脊髄損傷患者のADL評価・指導①(寝返り動作)	24	シーティングポジショニング
10	脊髄損傷患者のADL評価・指導②(起き上がり動作)		
11	脊髄損傷患者のADL評価・指導③(移乗動作)		
12	脊髄損傷患者のADL評価・指導④(トイレ動作など)		
13	ケーススタディ①		
14	ケーススタディ②		
15	Barthel indexによる評価		

IV 成績評価

レポート課題により評価する。

V 教科書

Crosslink理学療法学テキスト 日常生活活動学(メジカルビュー社)

2026年 医学アカデミー理学療法学科 夜間課程

3学年	科目	義肢学	単位・時間数	1単位・30時間
	講師	戸田 伸	担当教員	田中 靖子

I 教育目標

切断、四肢欠損に対する義肢の適応および義肢の構造的特徴について学習する。

II 到達目標

義肢の適応、構造的特徴について説明できる。

III 学習内容(シラバス)

1	切断と義肢の基礎知識
2	早期義肢装着と義足適合の流れーアライメントの概念ー
3	大腿切断・膝離断の基本と義足構造
4	大腿義足・膝義足のアライメント
5	下腿切断・サイム切断の基本と義足構造
6	下腿義足・サイム義足のアライメント
7	股離断・片側骨盤切除・足部切断の義足構造とアライメント
8	下肢切断の評価ー問題点の抽出とその統合ー
9	下肢切断の機能障害と義足装着前理学療法
10	切断原因疾患別にみた理学療法上の留意点
11	義足装着理学療法と応用動作
12	義手の分類と構造・機能
13	上肢切断の評価と治療
14	義肢装具の支給体系とチームアプローチ
15	まとめ 義肢学総括

IV 成績評価

学力試験により評価する。

V 教科書

PT・OTビジュアルテキスト 義肢・装具学 第2版(羊土社)

2026年 医学アカデミー理学療法学科 夜間課程

3学年	科目 疾患別理学療法Ⅳ(内部障害)	単位・時間数 3単位・48時間
	講師 高橋 範行・土屋 稔・田中 靖子・他	担当教員 田中 靖子

I 教育目標

循環器疾患、呼吸器疾患、代謝疾患、腎疾患および悪性腫瘍に対する理学療法を学習する。
体力評価及びトレーニングに関わる基礎的な知識を学ぶ。

II 到達目標

上記疾患に対する理学療法について説明できる。

III 学習内容(シラバス)

1	呼吸器疾患の基礎(閉塞性換気障害と拘束性換気障害、画像所見)	16	腎臓疾患の基礎(透析療法、ADL指導)
2	呼吸器疾患の評価(フィジカルアセスメントなど)	17	腎臓疾患の評価
3	COPDの呼吸リハビリテーション 肺炎等における長期臥床後の理学療法	18	腎臓疾患のリハビリテーション(運動処方、透析療法中におけるリスク管理)
4	演習 呼吸理学療法1(呼吸介助法、呼吸筋リラクセーション)	19	がんの基礎(がんの分類、原発性がん、転移性がん)
5	演習 呼吸理学療法2(胸郭可動域訓練、体位排痰法)	20	がんのリハビリテーション(周術期、回復期)
6	演習 呼吸理学療法3(運動処方、ADL指導、在宅酸素療法)	21	がんのリハビリテーション(緩和期)
7	循環器疾患の基礎(病態と画像所見)	22	演習 気道内分泌物吸引法1
8	循環器疾患の検査(心電図)	23	演習 気道内分泌物吸引法2
9	循環器疾患の検査(不整脈)	24	まとめ
10	循環器疾患の評価(運動耐容能の評価)		
11	循環器疾患のリハビリテーション(運動処方)		
12	循環器疾患のリハビリテーション 演習		
13	代謝性疾患の基礎(病態、合併症)		
14	代謝性疾患の評価		
15	代謝性疾患の理学療法(運動処方、足病変に対するフットケア)		

IV 成績評価

学力試験により評価する。

V 教科書

最新理学療法学講座 内部障害理学療法学(医歯薬出版)

2026年 医学アカデミー理学療法学科 夜間課程

3学年	科目	疾患別理学療法Ⅴ(小児発達障害)	単位・時間数	1単位・16時間
	講師	杉田 貴寛	担当教員	杉田 貴寛

I 教育目標

小児発達障害(脳性麻痺、二分脊椎、ダウン症等)に対する理学療法を学習する。

II 到達目標

上記疾患に対する理学療法について説明できる。

III 学習内容(シラバス)

1	発達障害 概論
2	脳性麻痺 総論
3	脳性麻痺 乳児期～幼児期への理学療法介入
4	脳性麻痺 学童期～成人期への理学療法介入
5	二分脊椎への理学療法介入
6	ダウン症候群への理学療法介入
7	筋ジストロフィーに対する理学療法介入
8	まとめ

IV 成績評価

学力試験により評価する。

V 教科書

15レクチャー理学療法テキスト 小児理学療法学(中山書店)

2026年 医学アカデミー理学療法学科 夜間課程

3学年	科目	理学療法演習	単位・時間数	1単位・44時間
	講師	田中 靖子 他	担当教員	田中 靖子

I 教育目標

ウィメンズヘルス、スポーツ障害、老年期障害、予防分野、産業保健分野等に対する理学療法について理解する。

II 到達目標

上記の内容に対する理学療法について説明できる。

III 学習内容(シラバス)

1	リスク管理・術後管理	16	演習②
2	廃用症候群と理学療法	17	演習③
3	老年期障害における理学療法	18	演習④
4	嚥下障害の評価と治療介入	19	演習⑤
5	栄養障害の評価と治療介入	20	演習⑥
6	ウィメンズヘルスにおける理学療法①	21	演習⑦
7	ウィメンズヘルスにおける理学療法②	22	演習⑧
8	スポーツ障害と理学療法①		
9	スポーツ障害と理学療法②		
10	スポーツ障害と理学療法③		
11	スポーツ障害と理学療法④		
12	予防分野における理学療法		
13	産業保健分野における理学療法		
14	災害時のリハビリテーション		
15	演習①		

IV 成績評価

レポート課題により評価する。

V 教科書

配布プリント

2026年 医学アカデミー—理学療法学科 夜間課程

3学年	科目	理学療法特論	単位・時間数	2単位・60時間
	講師	田中 靖子 他	担当教員	田中 靖子

I 教育目標

理学療法を体系的に理解し、卒業研究を行う。

II 到達目標

研究室の教員の指導の下、卒業論文を作成する。

III 学習内容(シラバス)

1	理学療法の今日の課題	16	研究演習12 ROMTについて
2	理学療法士が研究を行う意味	17	研究演習13 MMTについて
3	臨床研究の実際1	18	研究演習14 各種検査法について
4	臨床研究の実際2	19	研究演習15 ADLIについて
5	研究演習1 解剖学について	20	研究演習16 運動療法について
6	研究演習2 生理学について	21	研究演習17 物理療法について
7	研究演習3 運動学について	22	研究演習18 装具療法について
8	研究演習4 発達について	23	研究演習19 義肢学について
9	研究演習5 病理について	24	研究演習20 環境設定について
10	研究演習6 骨関節疾患について	25	研究演習21 骨関節疾患理学療法介入について
11	研究演習7 神経筋疾患について	26	研究演習22 中枢神経疾患理学療法介入について
12	研究演習8 内部障害疾患について	27	研究演習23 神経筋疾患理学療法介入について
13	研究演習9 精神疾患について	28	研究演習24 内部障害理学療法介入について
14	研究演習10 リハビリテーション医学について	29	研究演習25 運動発達理学療法介入について
15	研究演習11 理学療法について	30	研究演習26 まとめ

IV 成績評価

課題レポートにより評価する。

V 教科書

配布プリント

2026年 医学アカデミー—理学療法学科 夜間課程

3学年	科目 総合理学療法Ⅲ	単位・時間数 1単位・44時間
	講師 杉田 貴寛 他	担当教員 杉田 貴寛

I 教育目標

臨床実習Ⅳに向けた準備として知識及び技能の総復習を行う。
特に経過の確認および効果判定をし、理学療法計画の再設定について理解を深める。

II 到達目標

臨床実習Ⅳに必要な知識と技能を修得する。

III 学習内容(シラバス)

1	検査・測定の復習1	16	Transfer、Push up
2	検査・測定の復習2	17	症例検討1 大腿骨頸部骨折に対する術後理学療法
3	評価計画立案演習	18	症例検討2 膝・下腿部の整形疾患に対する術後理学療法
4	検査測定、統合と解釈1	19	症例検討3 脳卒中片麻痺患者の早期理学療法
5	検査測定、統合と解釈2	20	症例検討4 脳卒中片麻痺患者の回復期理学療法
6	問題点抽出、目標設定	21	症例検討5 脳卒中片麻痺患者の歩行介助・歩行訓練
7	理学療法プログラム立案	22	運動療法と介助
8	効果判定		
9	ケースノートの作成方法、経過の追い方		
10	関節可動域運動		
11	伸張運動		
12	筋力増強運動		
13	持久力運動		
14	糖尿病の運動療法(運動強度)		
15	協調性運動、DYJOC訓練		

IV 成績評価

実技試験により評価する。

V 教科書

配布プリント

2026年 医学アカデミー理学療法学科 夜間課程

3学年	科目	総合理学療法Ⅳ	単位・時間数	1単位・30時間
	講師	田中 靖子	担当教員	田中 靖子

I 教育目標

国家試験準備として、理学療法士に必要な知識、技能を総復習する。

II 到達目標

国家試験合格レベルの知識、技術について理解する。

III 学習内容(シラバス)

1	オリエンテーション、学習の進め方
2	基礎医学分野 演習
3	臨床医学分野 演習
4	基礎PT学分野 演習
5	疾患別PT分野 演習
6	プレテスト①
7	プレテスト①
8	プレテスト①
9	プレテスト①
10	プレテスト①振り返り
11	プレテスト②
12	プレテスト②
13	プレテスト②
14	プレテスト②
15	プレテスト②振り返り まとめ

IV 成績評価

学力試験により評価する。

V 教科書

配布プリント

理学療法士・作業療法士国家試験必修ポイント2025 基礎医学(医歯薬出版)
 理学療法士・作業療法士国家試験必修ポイント2026 臨床医学(医歯薬出版)
 理学療法士・作業療法士国家試験必修ポイント2025 基礎PT学(医歯薬出版)
 理学療法士・作業療法士国家試験必修ポイント2026 障害別PT治療学(医歯薬出版)

2026年 医学アカデミー理学療法学科 夜間課程

3学年	科目	生活環境論	単位・時間数	1単位・16時間
	講師	田中 靖子	担当教員	田中 靖子

I 教育目標

住環境整備、福祉用具の適応、バリアフリー、ユニバーサルデザインについて学習する。

II 到達目標

障害特性に合わせた住環境整備、福祉用具案について説明できる。
バリアフリー、ユニバーサルデザインについて説明できる。

III 学習内容(シラバス)

1	環境とは 環境と動作の関係性
2	住宅改修
3	福祉用具
4	バリアフリー、ユニバーサルデザイン、環境整備に関する法律
5	ケーススタディ①
6	ケーススタディ②
7	ケーススタディ③
8	ケーススタディ④

IV 成績評価

レポート課題により評価する。

V 教科書

Crosslink理学療法学テキスト 日常生活活動学(メジカルビュー社)
PT・OTビジュアルテキスト 地域リハビリテーション学 第2版(羊土社)
配布プリント

2026年 医学アカデミー—理学療法学科 夜間課程

3学年	科目	臨床実習Ⅳ	単位・時間数	9単位・405時間
	講師	杉田 貴寛	担当教員	杉田 貴寛

I 教育目標

医療施設等において対象者の評価(検査測定、問題点抽出および目標設定)、理学療法介入体験および効果判定について臨床実習指導者の管理・監督の下で体験し学習する。
医療チームの一員として果たすべき役割について学習する。

II 到達目標

上記内容について、臨床実習指導者の管理・監督の下で実施し、記録を作成できる。

III 学習内容(シラバス)

実習は学内事前実習(7日間)、施設実習(7週間)、学内事後実習(3日間)をもって構成する。

※詳細は臨床実習Ⅳ手引きに基づき説明する。

IV 成績評価

学内事前実習評価、施設実習評価、学内事後実習評価を総合的に勘案して決定する。
実習事前・事後評価は、基礎学力試験、客観的臨床能力試験(OSCE)、実習後発表会等を用いて評価する。

V 教科書

臨床実習Ⅳ手引き

【メモ】

